

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査三郷市の調査結果分析と今後の方策例

小学校国語 主な成果（○）と課題（▲） 全国差：全国平均正答率との差 三郷市教育委員会

国 語

【全体の結果（正答数分布グラフ等からの分析）】

- 平均正答率は、67.0％である。
- 全国と正答数を比較すると、その差は+0.5問であり、全国をやや上回る。
平均正答数：全国（8.9問/14問） 三郷市（9.4問/14問）
- 全国と正答率を比較すると、その差は+3.2％であり、全国をやや上回る。

【領域別、評価の観点別結果】

- 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域において、全国平均を上回る。
- 「知識・理解・技能」は全国差+7.5％である。
- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の領域において、全国平均を上回る。
- 「書く能力」は全国差+0.1％、「読む能力」は全国差+1.3％である。

【設問別結果（平均正答率、無解答率からの分析）】

- すべての設問において、無解答率が全国平均を下回る。
- 4（1）ウ「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で使う問題」では、全国差+19.3％である。
- ▲3-1「インタビューの様子」の中から、話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って自分の理解を確認するための質問をする問題では、全国差-0.5である。

【今後の方策例】

「インタビューの目的を明確にし、聞きだしたい内容を整理する授業展開例」

H31（R1）年度授業アイデア例（国立教育政策研究所教育課程研究センター）より

第二次②/7 インタビューの目的を明確にし、聞き出したい内容を整理する



栄養士の〇〇先生は、この仕事を30年も続けているそうです。学校行事や季節、子どもたちの様子などを踏まえて、常に3か月先の献立まで考えているそうですよ。

インタビューの前に学校を支えている人々のエピソードを伝え、自分の考えをもったり、予想を立てたりしながら、「～について聞きたい」という目的を明確にすることができます。



インタビュー前の自分の考え（予想）



30年間も続けているなんてすごいな。「おいしかった」と言ってもらえることにやりがいを感じているのかもしれないな。

いろいろなことを考え、先のことまで見通して立てている献立には、プロとしてのこだわりがありそうだな。

聞き出したい内容

仕事のやりがいは何か。

献立を立てるときのプロとしてのこだわりは何か。

インタビュー

目的に応じて、質問を工夫することや話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめることに課題が見られました。そこで、本授業アイデア例では、モデルを参考にして、目的に応じた質問の仕方を工夫したり、自分の考えを形成したりすることについての指導事例を紹介します。

授業の際には身近な人物を取り上げて繰り返しインタビューをしたり、モデルを基に具体的な質問の仕方を捉えたりすることで、よりよいインタビューの仕方を身に付けることができます。

また、自分の考えをまとめるためには、目的に応じて、インタビュー前の考えを基に聞きだしたいことを具体化し、情報と関係付けながら整理できるようにすることが大切です。

